

学生の確保の見通し等を記載した書類（資料）

【 目 次 】

資料１：学校基本調査「専攻分野別 大学院学生数」

資料２：学校基本調査「専攻分野別 出身大学の設置者別 大学院入学状況」

資料３：総務省統計局「人口推計」

資料４：学校基本調査「都道府県別 大学院学生数」

資料５：国際社会科学研究科の完成年度までに予定している収容定員変更

資料６：競合校の入試志願動向

資料７：国際社会科学研究科に関するニーズ調査結果報告書（在学生）

資料８：国際社会科学研究科に関するニーズ調査結果報告書（企業・団体）

資料９：国際社会科学研究科リーフレット

別紙１：新設組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙２：既設学科等の入学定員の充足状況

別紙３：既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

資料 1：学校基本調査「専攻分野別 大学院学生数」

※学校基本調査「専攻分野別 大学院学生数」を参照の上本学にて作成

修士課程：院生数

		2022年度 令和 4 年度	2023年度 令和 5 年度	2024年度 令和 6 年度
全体	社会科学 法学・政治学	2,352	2,403	2,397
	社会科学 商学・経済学	8,203	8,048	8,133
	社会科学 社会学	1,446	1,427	1,844
	社会科学 その他	3,261	3,322	3,356
	社会科学 計	15,262	15,200	15,730
	全修士院生数	166,148	168,706	171,669
	社会科学の比率	9%	9%	9%

私立のみ

社会科学 法学・政治学	1,697	1,777	1,814
社会科学 商学・経済学	5,286	5,227	5,362
社会科学 社会学	1,148	1,123	1,500
社会科学 その他	1,856	1,916	1,913
社会科学 計	9,987	10,043	10,589
全修士院生数	60,452	62,457	65,261
社会科学の比率	17%	16%	16%

資料２：学校基本調査「専攻分野別 出身大学の設置者別 大学院入学状況」
※学校基本調査「専攻分野別 出身大学の設置者別 大学院入学状況」を参照の上本学にて作成

社会科学 修士課程

	入学志願者 計	入学志願者 当該大学	入学志願者 他大学	入学志願者 他大学	入学志願者 他大学	入学志願者 他大学	入学志願者 外国の学校卒	入学志願者 その他	入学者 計	入学者 当該大学	入学者 他大学	入学者 他大学	入学者 他大学	入学者 他大学	入学者 外国の学校卒	入学者 その他
	計	当該大学	計	国立	公立	私立	外国の学校卒	その他	計	当該大学	計	国立	公立	私立	外国の学校卒	その他
令和４年度 2022年度	16,817	2,603	6,208	969	203	5,036	7,592	414	6,267	1,805	2,385	461	112	1,812	1,856	221
令和５年度 2023年度	17,779	2,610	6,579	1,010	206	5,363	8,203	387	6,376	1,880	2,430	491	105	1,834	1,858	208
令和６年度 2024年度	20,638	2,659	7,059	1,039	234	5,786	10,558	362	6,778	1,814	2,528	492	99	1,937	2,246	190
2024（令和６）年度倍率：									3.04							

資料 3：総務省統計局「人口推計」

※総務省統計局「人口推計（2023年（令和5年）10月1日現在）」より第1表及び第2表を参照の上本学にて作成（単位 千人）

総人口（全国）		124,352			22歳になる年	現年齢	年齢別人口 （全国）	埼玉	東京	神奈 川	千葉	一都三県の 対象人口
			人口比率		2035	10	1,027	61	116	76	52	305
埼	玉	県	7,331	5.9%	2034	11	1,030	61	117	76	52	306
東	京	都	14,086	11.3%	2033	12	1,056	62	120	78	53	313
神	奈	川	9,229	7.4%	2032	13	1,065	63	121	79	54	316
千	葉	県	6,257	5.0%	2031	14	1,070	63	121	79	54	318
		36,903	29.7%		2030	15	1,090	64	123	81	55	323
					2029	16	1,084	64	123	80	55	322
京	都	府	2,535	2.0%	2028	17	1,075	63	122	80	54	319
大	阪	府	8,763	7.0%	2027	18	1,089	64	123	81	55	323
兵	庫	県	5,370	4.3%	2026	19	1,156	68	131	86	58	343
奈	良	県	1,296	1.0%								
和	歌	山	892	0.7%								
		18,856	15.2%									

※参照データが2023（令和5）年10月1日現在であるため、設置年度である2026（令和8）年度に22歳に達する19歳から記載を始め、その後10年間の動向を確認するために10歳まで記載している。

資料 4：学校基本調査「都道府県別 大学院学生数」

※学校基本調査「都道府県別 大学院学生数」を参照の上本学にて作成

全私立大学院生数（修士、博士、専門職）

		2022年度 令和 4 年度	2023年度 令和 5 年度	2024年度 令和 6 年度
埼	玉	2,540	2,558	2,749
千	葉	4,284	4,503	4,607
東	京	42,380	43,076	44,118
神	奈 川	8,650	8,924	9,287
小 計		57,854	59,061	60,761
全 国		90,940	93,475	97,471
一都三県の 比 率		64%	63%	62%
22/24年の伸び率				105%

資料5 国際社会科学部研究科の完成年度までに予定している収容定員変更

変更理由：学習院女子大学国際文化交流学部を学習院大学へ統合するため。

施行日：令和8（2026）年4月1日

学部・学科	変更後			変更前		
	入学定員	第3年次 編入学 定員	収容定員	入学定員	第3年次 編入学 定員	収容定員
国際文化交流学部	355	10	1,440			
日本文化学科	140	5	570			
国際コミュニケーション学科	170	5	690			
英語コミュニケーション学科	45		180			

変更理由：学習院大学大学院政治学研究科政治学専攻博士課程の定員管理を適正化するため。

施行日：令和8（2026）年4月1日

研究科・専攻	変更後				変更前			
	前期課程		後期課程		前期課程		後期課程	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
政治学研究科政治学専攻	10	20	3	9	15	30	5	15

変更理由：学習院女子大学大学院国際文化交流研究科国際文化交流専攻修士課程を学習院大学大学院へ統合するため。

施行日：令和8（2026）年4月1日

研究科・専攻	変更後		変更前	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
国際文化交流研究科国際文化交流専攻	10	20		

資料6：競合校の入試志願動向
※各大学の公表情報を参照の上本学にて作成
※該当データが確認できなかった箇所は「－」で示している

		青山学院大学大学院 国際政治経済学研究科 国際経済学専攻	明治学院大学大学院 国際学研究科 国際学専攻	東洋大学大学院 国際学研究学科 グローバル・イノベーション学 専攻	東洋大学大学院 国際学研究学科 国際地域学専攻	亜細亜大学大学院 アジア・国際経営戦略研究科 アジア・国際経営戦略専攻
入学定員数	2022年度	15	10	10	15	30
	2023年度	15	10	10	15	30
	2024年度	15	10	10	15	30
合格者数 / 志願者数（受験者数）	2022年度	－	秋 3 / 3（－） 春 0 / 1（－）	秋 16 / 20（－） 春 9 / 13（－）	39 / 65 (51)	
	2023年度	－	秋 1 / 3（－） 春 2 / 2（－）	秋 19 / 23（－） 春 10 / 11（－）	29 / 49 (42)	
	2024年度	－	秋 3 / 5（－） 春 6 / 12（－）	秋 21 / 25（－） 春 15 / 24（－）	40 / 66 (56)	
入学者数	2022年度	0	3	4	5	29
	2023年度	8	2	3	5	24
	2024年度	3	9	7	6	34
定員充足率 （入学者数 / 定員）	2022年度	0 / 15 (0%)	3 / 10 (30%)	4 / 10 (40%)	5 / 15 (33%)	29 / 30 (97%)
	2023年度	8 / 15 (53%)	2 / 10 (20%)	3 / 10 (30%)	5 / 15 (33%)	24 / 30 (80%)
	2024年度	3 / 15 (20%)	9 / 10 (90%)	7 / 10 (70%)	6 / 15 (40%)	34 / 30 (113%)
備考		2024年度における経営学研究科 の定員充足率は187%（入学者 数28/入学定員15）	2024年度における法と経営学研究科 の定員充足率は80%（入学者数16/入 学定員20）			

学習院大学大学院
「国際社会科学研究所
国際社会科学専攻(修士課程)」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【在学生対象調査】

令和6年12月
株式会社 進研アド

1. 調査目的

2026年4月開設予定の学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」新設構想に関して、在学生からの進学ニーズを把握する。

2. 調査概要

在学生対象調査		
調査対象		在学生
調査方法		学内配布・Web調査
調査対象数	有効回収数	120名
調査時期		2024年9月17日(火)～2024年10月6日(日)
調査実施機関		株式会社 進研アド

※重複してアンケートに回答していないかを聞く質問を設け、「同じアンケートに回答したことがある」と回答した人は集計から除外している。各調査回答者の重複はない。

3. 調査項目

在学生対象調査	
・所属学部・学科 ・学年 ・卒業後の希望進路 ・志望する設置者 ・興味のある学問分野 ・学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」の特色に対する魅力度 ・学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」への受験意向 ・学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」への入学意向 ・学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」への入学希望時期 ・就職後や大学院等修了後の「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」への進学希望	

入学意向調査 調査結果

※報告書内の表中の%の母数は、
特に断りがない場合、回答者全体(120名)

回答者の属性

※本調査は、学習院大学大学院の「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」に対する需要を確認するための調査として設計。在学生に調査を実施し、120名から回答を得た。

- 回答者の所属学部・学科は、「国際社会科学部 国際社会科学科」が100.0%である。
- 回答者の学年は、「3年生」が100.0%である。

■所属学部・学科

Q1. あなたが所属する学部・学科をお答えください。
あてはまるものを1つ選択してください。

	標 本 数	国際社会科学部 国際社会科学科	経済学部 経済学科	経済学部 経営学科	法学部 法学科	法学部 政治学科	文学部 哲学科	文学部 史学科	文学部 日本語日本文学科	文学部 英語英米文化学科	文学部 ドイツ語圏文化学科
上段:% 下段:件数(名)											
全体	120	100.0 120	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0

	標 本 数	文学部 フランス語圏文化学科	文学部 心理学科	文学部 教育学科	理学部 数学科	理学部 物理学科	理学部 化学科	理学部 生命科学科	その他	無回答
上段:% 下段:件数(名)										
全体	120	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0

■学年

Q2. あなたの学年をお答えください。
あてはまるものを1つ選択してください。

	標 本 数	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	もあ ては ない ま い る	無 回 答
上段:% 下段:件数(名)							
全体	120	0.0 0	0.0 0	100.0 120	0.0 0	0.0 0	0.0 0

卒業後の希望進路

- ・ 回答者のうち、卒業後に「大学院「修士課程」に進学」することを検討している人は36.7%。
以下、「就職」が80.8%、「その他」が4.2%である。
- ・ 卒業後の希望進路として「大学院「修士課程」に進学」を選択した人に、設置者ごとの希望を複数回答で聴取した。その結果、学習院大学大学院の該当する「私立」を希望する人は79.5%、「国立」が50.0%、「公立」が25.0%であった。

■卒業後の希望進路

Q3. あなたは、卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
現在検討している進路をすべて選択してください。（複数選択可）

	標 本 数	に「大学院 「修士課程」 に進学」	就 職	そ の 他	無 回 答
上段：％ 下段：件数（名）					
全体	120	36.7 44	80.8 97	4.2 5	0.0 0

※「大学院「修士課程」に進学」を選択した44名を抽出

■希望する大学等の区分（設置者）

Q4. 前問で、「大学院「修士課程」に進学」を選んだ方に伺います。
志望する大学院の設置者の希望をすべて選択してください。（複数選択可）

	標 本 数	私 立	国 立	公 立	無 回 答
上段：％ 下段：件数（名）					
全体	44	79.5 35	50.0 22	25.0 11	0.0 0

興味のある学問分野

- 回答者のうち、大学院進学希望者の興味のある学問分野を複数回答で聴取したところ、「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」の学びと関連する「商学・経済学(国際経済学、イノベーション・マネジメント、マーケティングなど)」が79.5%で最も高い。次いで、「社会学」が29.5%と続く。
- 回答者のうち、私立大学院進学希望者に限定すると、興味のある学問分野は「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」の学びと関連する「商学・経済学(国際経済学、イノベーション・マネジメント、マーケティングなど)」が85.7%で最も高い。次いで「社会学」が22.9%と続く。

<私立大学院進学希望者>

- ① Q3で卒業後の進路として「大学院「修士課程」に進学」を希望。
- ② Q4で「私立」への進学を希望。

■興味のある学問分野

Q5. 引き続き、「大学院「修士課程」に進学」を選んだ方に伺います。
修士課程で学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中からすべて選択してください。(複数選択可)

＜大学院進学希望者ベース＞

	標 本 数	商学・経済学（国際経済学、 マナージメント・ イノベーション・ マーケティングなど）	社会学	法学・政治学	文学	史学	哲学	理学（数学、物理学 など）
上段：％ 下段：件数(名)								
大学院 進学希望者	44	79.5 35	29.5 13	9.1 4	9.1 4	0.0 0	2.3 1	0.0 0

	標 本 数	電気通信（機械工学など） 工学（機械工学など）	農学（林学、水産学 など）	保健（医学、薬学 など）	教育学	その他	わからない	無回答
上段：％ 下段：件数(名)								
大学院 進学希望者	44	0.0 0	0.0 0	0.0 0	9.1 4	6.8 3	2.3 1	0.0 0

※％の母数は、大学院進学希望者(44名)

＜私立大学院進学希望者ベース＞

	標 本 数	商学・経済学（国際経済学、 マナージメント・ イノベーション・ マーケティングなど）	社会学	法学・政治学	文学	史学	哲学	理学（数学、物理学 など）
上段：％ 下段：件数(名)								
私立大学院 進学希望者	35	85.7 30	22.9 8	8.6 3	8.6 3	0.0 0	0.0 0	0.0 0

	標 本 数	電気通信（機械工学など） 工学（機械工学など）	農学（林学、水産学 など）	保健（医学、薬学 など）	教育学	その他	わからない	無回答
上段：％ 下段：件数(名)								
私立大学院 進学希望者	35	0.0 0	0.0 0	0.0 0	8.6 3	2.9 1	0.0 0	0.0 0

※％の母数は、私立大学院進学希望者(35名)

学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」への受験・入学意向

※ここからは、下記の①～③の条件すべてに合致する回答者を、
学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」のターゲット層と定義し、分析を行う。

- ① Q3で卒業後の進路として「大学院「修士課程」に進学」を希望
- ② Q4で「私立」への進学を希望
- ③ Q5で、「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」の学びと関連する学問分野への興味あり
(商学・経済学(国際経済学、イノベーション・マネジメント、マーケティングなど)に興味あり)

学習院大学大学院「国際社会科学研究科
国際社会科学専攻(修士課程)」への受験・入学意向

学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻
(修士課程)」への受験・入学意向

■学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」
への受験・入学意向

Q7. 学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」(仮称・設置構想中)が設置された場合、
受験を希望しますか。あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

Q8. あなたは、学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」(仮称・設置構想中)を受験して
合格した場合、入学を希望しますか。あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

回答者数 (合計)	問3 卒業後の進路	問4 進学希望の 大学設置者	問5 興味のある 学問分野	問7 新設組織の 受験希望有無	問8 合格した場合の 入学希望有無	問9 入学希望時期
120名	うち、 ①大学院 「修士課程」 に進学 44名 (36.7%)	うち、 ①私立 35名 (79.5%)	うち、 ①商学・経済 学(国際経済 学、イノベー ション・マネジ メント、マーケ ティングなど) を選択 30名 (85.7%) ※新設組織に 該当する 学問分野を 選択した者のみ 記載	うち、	うち、	うち、
				①第一志望として 受験する 20名 (66.7%)	①入学する 20名 (100.0%)	①2026年4月の 入学を希望する 20名 (100.0%)
					②志望順位が 上位の他の志望校 が不合格の場合に 入学する 0名 (0.0%)	①2026年4月の 入学を希望する 0名 (0.0%)
					③入学しない 0名 (0.0%)	①2026年4月の 入学を希望する 0名 (0.0%)
				②第二志望として 受験する 6名 (20.0%)	①入学する 3名 (50.0%)	①2026年4月の 入学を希望する 3名 (100.0%)
					②志望順位が 上位の他の志望校 が不合格の場合に 入学する 3名 (50.0%)	①2026年4月の 入学を希望する 3名 (100.0%)
					③入学しない 0名 (0.0%)	①2026年4月の 入学を希望する 0名 (0.0%)
				③第三志望以降 として受験する 3名 (10.0%)	①入学する 1名 (33.3%)	①2026年4月の 入学を希望する 1名 (100.0%)
					②志望順位が 上位の他の志望校 が不合格の場合に 入学する 2名 (66.7%)	①2026年4月の 入学を希望する 1名 (50.0%)
					③入学しない 0名 (0.0%)	①2026年4月の 入学を希望する 0名 (0.0%)
				④受験しない		

入学見込者
20名

学習院大学大学院「国際社会科学研究科
国際社会科学専攻(修士課程)」への入学希望時期

学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻
(修士課程)」への入学希望時期

- ・ターゲット層該当者のうち、「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」を「第一志望として受験する」かつ「入学する」かつ「2026年4月の入学を希望する」と回答した人は、100.0%である。

■学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」への入学希望時期

Q9. あなたは、学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」(仮称・設置構想中)を入学するとしたら、いつごろの入学を希望しますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

上段：% 下段：件数(名)	標本数	2026年4月の 入学を希望する	2027年4月の 入学を希望する	2028年4月 以降の入学を 希望する	無回答
ターゲット層× 第一志望者	20	100.0 20	0.0 0	0.0 0	0.0 0

※%の母数は、ターゲット層(大学院「修士課程」進学希望×私立×関連学問興味あり)該当者のうち、学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」を「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人(20名)

学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻
(修士課程)」の特色に対する魅力度

【国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程) ターゲット層】
下記の①～③の条件すべてに合致する回答者: 30名(回答者全体の25.0%)

- ① Q3で卒業後の進路として「大学院「修士課程」に進学」を希望。
- ② Q4で「私立」への進学を希望。
- ③ Q5で、「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」の学びと
関連する学問分野への興味あり
(商学・経済学(国際経済学、イノベーション・マネジメント、マーケティング
など)に興味あり)



- ・ターゲット層における「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」の特色に対する魅力度(※)は、2つの項目どちらも100.0%である。各特色については以下のとおり。
- ・「1. 国際社会における課題の解決に必要な専門知識とデータ分析能力、英語コミュニケーション能力を習得するために、経済学、経営学、社会学、地域研究、法学を実践的に学びます。」の魅力度は100.0%である。「2. 身に付けた専門知識とデータ分析能力を用いて研究を行い、英語論文作成や国際学会での報告、学術誌への投稿能力を養う科目群を通して、課題解決への総合的な実践力を習得します。」の魅力度は100.0%である。
- ・同様に、ターゲット層のうち、「第一志望として受験する」かつ「入学する」かつ「2026年4月の入学を希望する」と回答した人(第一志望者)における「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」の特色「1」「2」に対する魅力度(※)は、どちらも100.0%である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

学習院大学大学院「国際社会科学研究科
国際社会科学専攻(修士課程)」の特色に対する魅力度

■学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」
の特色に対する魅力度

Q6. 学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」(仮称・設置構想中)には、以下のような特色があります。
あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまるもの1つだけ)

- 特色1. 国際社会における課題の解決に必要な専門知識とデータ分析能力、英語コミュニケーション能力を習得するために、経済学、経営学、社会学、地域研究、法学を実践的に学びます。
- 特色2. 身に付けた専門知識とデータ分析能力を用いて研究を行い、英語論文作成や国際学会での報告、学術誌への投稿能力を養う科目群を通して、課題解決への総合的な実践力を習得します。

		標 本 数	魅 と も 力 を 感 じ る	魅 あ る 程 度 を 感 じ る	魅 あ ま り を 感 じ な い	魅 ま っ た く を 感 じ な い	魅 力 度 (※)	無 回 答
上段: % 下段: 件数(名)								
ターゲット層	特色(1)	30	93.3 28	6.7 2	0.0 0	0.0 0	100.0 30	0.0 0
	特色(2)	30	90.0 27	10.0 3	0.0 0	0.0 0	100.0 30	0.0 0
第一志望者	特色(1)	20	100.0 20	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 20	0.0 0
	特色(2)	20	100.0 20	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 20	0.0 0

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※第一志望者:

ターゲット層(大学院「修士課程」進学希望×私立×関連学問興味あり)該当者のうち、
学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」を
「第一志望として受験する」かつ「入学する」かつ「2026年4月の入学を希望する」と回答した人

就職後や大学院等修了後の「国際社会科学研究科
国際社会科学専攻(修士課程)」への進学希望

就職後や大学院等修了後の「国際社会科学研究科
国際社会科学専攻(修士課程)」への進学希望

- ・就職後や大学院等修了後に「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」へ「進学を希望する可能性はある」と回答した人は、50.0%である。

■就職後や大学院等修了後の「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻
(修士課程)」への進学希望

Q10. 学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」(仮称・設置構想中)を「入学しない」と答えた方に伺います。

長期的に見た場合、就職して実務経験を積んだ後や、他の大学院等を修了した後に、
学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」(仮称・設置構想中)への進学を希望される
可能性はありますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

上段: % 下段: 件数(名)	標本数	進学を希望する 可能性はある	進学を希望しない	無回答
全体	2	50.0 1	50.0 1	0.0 0

※%の母数は、私立大学院進学希望者のうち学習院大学大学院「国際社会科学研究科
国際社会科学専攻(修士課程)」を「入学しない」と回答した人(2名)

巻末資料 調査票

主催：学習院大学

学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻（修士課程）」（仮称・設置構想中）に関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。

学習院大学大学院では2026年（令和8年）4月に、「国際社会科学研究所 国際社会科学専攻（修士課程）」（仮称、設置構想中）の設置を構想しています。

構想中である上記修士課程の教育内容をより充実したものにするための参考資料として、現在、学習院大学に所属する大学生の皆様にご意見を頂きたいと考えています。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。皆様の忌憚のないご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

※このアンケートや研究科概要資料に記載されている内容は予定であり、変更になる可能性があります。

Q1

100%

あなたが所属する学部・学科をお答えください。

あてはまるものを1つ選択してください。

◎ 單一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 国際社会科学部 国際社会科学科
- ② 経済学部 経済学科
- ③ 経済学部 経営学科
- ④ 法学部 法学科
- ⑤ 法学部 政治学科
- ⑥ 文学部 哲学科
- ⑦ 文学部 史学科
- ⑧ 文学部 日本語日本文学科
- ⑨ 文学部 英語英米文化学科
- ⑩ 文学部 ドイツ語圏文化学科
- ⑪ 文学部 フランス語圏文化学科
- ⑫ 文学部 心理学科
- ⑬ 文学部 教育学科
- ⑭ 理学部 数学科
- ⑮ 理学部 物理学科
- ⑯ 理学部 化学科
- ⑰ 理学部 生命科学科
- ⑱ その他（必須入力）

調査票

Q2

あなたの学年をお答えください。
あてはまるものを1つ選択してください。

⑤ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 1年生
- ② 2年生
- ③ 3年生
- ④ 4年生
- ⑤ あてはまるものはない

..... ✂ ここで改ページ

Q3

あなたは、卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
現在検討している進路をすべて選択してください。（複数選択可）

▼ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 大学院「修士課程」に進学
- ② 就職
- ③ その他 (必須入力)

..... ✂ ここで改ページ

Q4

前問で、“大学院「修士課程」に進学”を選んだ方に伺います。
志望する大学院の設置者の希望をすべて選択してください。（複数選択可）

▼ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 私立
- ② 国立
- ③ 公立

..... ✂ ここで改ページ

Q5

引き続き、“大学院「修士課程」に進学”を選んだ方に伺います。
修士課程で学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中からすべて選択してください。（複数選択可）

▼ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ☐ 1 商学・経済学（国際経済学、イノベーション・マネジメント、マーケティングなど）
- ☐ 2 社会学
- ☐ 3 法学・政治学
- ☐ 4 文学
- ☐ 5 史学
- ☐ 6 哲学
- ☐ 7 理学（数学、物理学など）
- ☐ 8 工学（機械工学、電気通信工学など）
- ☐ 9 農学（林学、水産学など）
- ☐ 10 保健（医学、薬学など）
- ☐ 11 教育学
- ☐ 12 その他 {必須入力}
- ☐ 13 わからない

.....  ここで改ページ

C1

学習院大学大学院「国際社会科学研究所 国際社会科学専攻（修士課程）」（仮称・設置構
想中）の設置構想内容をご覧ください。

※このアンケートに記載されている学習院大学大学院「国際社会科学研究所 国際社会科学
専攻（修士課程）」（仮称・設置構想中）に関する事項はすべて予定であり内容が変更に
なる可能性があります。

▼ ボタンをクリックして、表示される画像をご覧ください。 ▼

※クリック必須

【研究科概要資料】

.....  ここで改ページ

調査票

Q6

学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻（修士課程）」（仮称・設置構想中）には、以下のような特色があります。

あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまるもの1つだけ）

▼ 概要資料を再度ご覧頂く場合は、下記ボタンをクリックしてください。 ▼

【研究科概要資料】

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

0/2

- 1 国際社会における課題の解決に必要な専門知識とデータ分析能力、英語コミュニケーション能力を習得するために、経済学、経営学、社会学、地域研究、法学を実践的に学びます。 ▼
- 2 身に付けた専門知識とデータ分析能力を用いて研究を行い、英語論文作成や国際学会での報告、学術誌への投稿能力を養う科目群を通して、課題解決への総合的な実践力を習得します。 ▲

- ① とても魅力を感じる
- ② ある程度魅力を感じる
- ③ あまり魅力を感じない
- ④ まったく魅力を感じない

ここ改ページ

Q7

学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻（修士課程）」（仮称・設置構想中）が設置された場合、受験を希望しますか。

あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

▼ 概要資料を再度ご覧頂く場合は、下記ボタンをクリックしてください。 ▼

【研究科概要資料】

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 第一志望として受験する
- ② 第二志望として受験する
- ③ 第三志望以降として受験する
- ④ 受験しない

ここ改ページ

Q8

あなたは、学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻（修士課程）」（仮称・設置構想中）を受験して合格した場合、入学を希望しますか。

あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

▼ 概要資料を再度ご覧頂く場合は、下記ボタンをクリックしてください。 ▼

【研究科概要資料】

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 入学する
- ② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- ③ 入学しない

ここ改ページ

Q9

あなたは、学習院大学大学院「国際社会科学研究所 国際社会科学専攻（修士課程）」（仮称・設置構想中）を入学するとしたら、いつごろの入学を希望しますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

▼ 概要資料を再度ご覧頂く場合は、下記ボタンをクリックしてください。 ▼

【研究科概要資料】

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 2026年4月の入学を希望する
- ② 2027年4月の入学を希望する
- ③ 2028年4月以降の入学を希望する

.....< ここて改ページ

Q10

学習院大学大学院「国際社会科学研究所 国際社会科学専攻（修士課程）」（仮称・設置構想中）を「入学しない」と答えた方に伺います。
長期的に見た場合、就職して実務経験を積んだ後や、他の大学院等を修了した後に、学習院大学大学院「国際社会科学研究所 国際社会科学専攻（修士課程）」（仮称・設置構想中）への進学を希望される可能性はありますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

▼ 概要資料を再度ご覧頂く場合は、下記ボタンをクリックしてください。 ▼

【研究科概要資料】

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 進学を希望する可能性はある
- ② 進学を希望しない

.....< ここて改ページ

Q11

あなたは過去に、学習院大学大学院「国際社会科学研究所 国際社会科学専攻（修士課程）」（仮称・設置構想中）に関する、本アンケートと同じアンケートに回答したことがありますか。

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 同じアンケートに回答したことはない
- ② 同じアンケートに回答したことがある

.....< ここて改ページ

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
送信ボタンを押してください。

送 信

**学習院大学大学院
「国際社会科学研究科
国際社会科学専攻(修士課程)」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【企業・団体対象調査】**

**令和6年12月
株式会社 進研アド**

1. 調査目的

2026年4月開設予定の学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」(仮称)の設置構想に関して、企業・団体からの採用ニーズを把握する。

2. 調査概要

企業・団体対象調査		
調査対象		企業・団体の採用担当者
調査エリア		東京都、神奈川県、富山県、岐阜県、京都府、熊本県
調査方法		郵送配布・Web調査
調査対象数	依頼数	100企業・団体
	回収数(回収率)	16企業・団体(16.0%)
調査時期		2024年9月17日(火)～2024年10月7日(月)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

企業・団体対象調査
・ 人事採用への関与度 ・ 本社所在地 ・ 業種 ・ 正規社員の従業員数 ・ 正規社員の平均新卒採用人数 ・ 本年度の採用予定数 ・ 採用したい学問分野 ・ 学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」の特色に対する魅力度 ・ 学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」の社会的必要性 ・ 学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」修了生に対する採用意向 ・ 学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」修了生に対する毎年の採用想定人数

採用意向調査 調査結果

※報告書内の表中の%の母数は、
特に断りがない場合、回答企業・団体全体(16企業・団体)

回答企業・団体(回答者)の属性、 採用状況等

回答企業・団体(回答者)の属性

※本調査は、学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」(仮称)に対する人材需要を確認するための調査として設計。学習院大学大学院の修了生就職先として想定される企業・団体の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、16企業・団体から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は31.3%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が62.5%であり、採用や選考に関わっている人事担当者から意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業・団体の本社(本部)所在地は、学習院大学大学院の本部所在地である「東京都」が68.8%と最も高い。「神奈川県」「富山県」「岐阜県」「京都府」「熊本県」はいずれも6.3%である。
- 回答企業・団体の業種としては「製造業」が50.0%で最も多い。次いで、「金融・保険業」が25.0%と続く。
- 回答企業・団体の正規社員の従業員数は、「1,000名～5,000名未満」「5,000名以上」がいずれも31.3%、次いで「100名～500名未満」「500名～1,000名未満」がいずれも18.8%である。100名以上の比較的規模が大きい企業・団体が100.0%である。

回答企業・団体(回答者)の属性、 採用状況等

回答企業・団体の採用状況(過去3か年平均)／ 本年度の新卒採用予定数／採用したい学問分野

- 回答企業・団体の平均的な正規社員の新卒採用人数は「100名以上」が37.5%と最も多く、次いで「5名～10名未満」「30名～50名未満」がいずれも18.8%、「10名～20名未満」が12.5%である。毎年新卒の正規社員を採用している企業・団体がほとんどである。
- 回答企業・団体の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が68.8%と最も多く、次いで「増やす」が18.8%である。回答企業・団体の多くで昨年度以上の採用が予定されている模様である。
- 回答企業・団体の採用したい学問分野を複数回答で聞いたところ、「工学(機械工学、電気通信工学など)」が75.0%で最も高い。次いで「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」の学びと関連する「商学・経済学(国際経済学、イノベーション・マネジメント、マーケティングなど)」が62.5%、同率で「理学(数学、物理学など)」も62.5%である。

回答企業・団体(回答者)の属性、 採用状況等

■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。
あてはまるものを1つ選択してください。

	標 本 数	かなり わかつ て考 えに る	採用 の決 裁権 が	かなり わかつ て考 えに る	採用 の決 裁権 は	意見 を収 集・ 立 場 に あ る	採用 時 に は 直 接 報 や	無 回 答
上段:% 下段:件数 (企業・団体)								
全体	16	31.3 5	62.5 10	6.3 1	0.0 0			

■本社(本部)所在地

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

	標 本 数	東 京 都	神 奈 川 県	富 山 県	岐 阜 県	京 都 府	熊 本 県	無 回 答
上段:% 下段:件数 (企業・団体)								
全体	16	68.8 11	6.3 1	6.3 1	6.3 1	6.3 1	6.3 1	0.0 0

■業種

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。あてはまるものを1つ選択してください。

	標 本 数	鉱 業 ・ 林 ・ 漁 ・	建 設 業	製 造 業	水 道 業	熱 供 給 ・ ガ ス ・	電 気 ・ ガ ス ・	情 報 通 信 業	運 輸 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業
上段:% 下段:件数 (企業・団体)											
全体	16	0.0 0	0.0 0	50.0 8	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	6.3 1	25.0 4

	標 本 数	不 動 産 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 店 ・	医 療 ・ 福 祉	複 合 サ ー ビ ス 業	サ ー ビ ス 業	公 務	そ の 他	無 回 答
上段:% 下段:件数 (企業・団体)									
全体	16	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	6.3 1	6.3 1	6.3 1	0.0 0

回答企業・団体(回答者)の属性、 採用状況等

■正規社員の従業員数

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。あてはまるものを1つ選択してください。

	標 本 数	5 0 名 未 満	1 5 0 0 0 名 名 未 満	5 1 0 0 0 名 名 未 満	未 1 5 満 , 0 0 0 0 名 名	5 1 , , 0 0 0 0 0 名 名 未 満	5 , 0 0 0 名 以 上	無 回 答
上段:% 下段:件数 (企業・団体)								
全体	16	0.0 0	0.0 0	18.8 3	18.8 3	31.3 5	31.3 5	0.0 0

■正規社員の平均新卒採用人数

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年において、1年間の平均的な正規社員の新卒採用数について、お教えください。
あてはまるものを1つ選択してください。

	標 本 数	0 名	5 1 名 名 名 未 満	1 5 0 名 名 未 満	2 1 0 0 0 名 名 未 満	3 2 0 0 0 名 名 未 満	5 3 0 0 0 名 名 未 満	1 5 0 0 0 名 名 未 満	1 0 0 0 名 以 上	無 回 答
上段:% 下段:件数 (企業・団体)										
全体	16	0.0 0	0.0 0	18.8 3	12.5 2	6.3 1	18.8 3	6.3 1	37.5 6	0.0 0

■本年度の採用予定数

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。あてはまるものを1つ選択してください。

	標 本 数	増 や す	昨 年 度 並 み	減 ら す	未 定	無 回 答
上段:% 下段:件数 (企業・団体)						
全体	16	18.8 3	68.8 11	6.3 1	6.3 1	0.0 0

■採用したい学問分野

Q7. 貴社・貴団体では、今後、大学や大学院でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。
あてはまるものをすべて選択してください。

	標 本 数	商 学 ・ 経 済 学 （ 国 際 経 済 学 、 イ ノ ベ ー シ ヨ ン ・ マ ネ ジ メ ン ト 、 マ ー ケ テ ィ ン グ な ど ）	社 会 学	法 学 ・ 政 治 学	文 学	史 学	哲 学	理 学 （ 数 学 、 物 理 学 な ど ）
上段：％ 下段：件数 （企業・団体）								
全体	16	62.5 10	50.0 8	50.0 8	25.0 4	31.3 5	25.0 4	62.5 10

	標 本 数	工 学 （ 機 械 工 学 、 電 気 通 信 工 学 な ど ）	農 学 （ 林 学 、 水 産 学 な ど ）	保 健 （ 医 学 、 薬 学 な ど ）	教 育 学	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
上段：％ 下段：件数 （企業・団体）								
全体	16	75.0 12	37.5 6	37.5 6	25.0 4	0.0 0	6.3 1	0.0 0

学習院大学大学院「国際社会科学研究所 国際社会科学専攻(修士課程)」の特色に対する魅力度

- 「国際社会科学研究所 国際社会科学専攻(修士課程)」の特色に対する魅力度(※)は、2つの項目どちらも8割を超える。
- 2つの特色のうち高いのは「1. 国際社会における課題の解決に必要な専門知識とデータ分析能力、英語コミュニケーション能力を習得するために、経済学、経営学、社会学、地域研究、法学を実践的に学びます。」(100.0%)。「2. 身に付けた専門知識とデータ分析能力を用いて研究を行い、英語論文作成や国際学会での報告、学術誌への投稿能力を養う科目群を通して、課題解決への総合的な実践力を習得します。」は81.3%である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業・団体の合計値

■学習院大学大学院「国際社会科学研究所 国際社会科学専攻(修士課程)」の特色に対する魅力度

Q8. 学習院大学大学院「国際社会科学研究所 国際社会科学専攻(修士課程)」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。それぞれ、あてはまるものを1つ選択してください。

特色1. 国際社会における課題の解決に必要な専門知識とデータ分析能力、英語コミュニケーション能力を習得するために、経済学、経営学、社会学、地域研究、法学を実践的に学びます。

特色2. 身に付けた専門知識とデータ分析能力を用いて研究を行い、英語論文作成や国際学会での報告、学術誌への投稿能力を養う科目群を通して、課題解決への総合的な実践力を習得します。

	標 本 数	魅 と て も を 感 じ る	魅 あ る 程 度 を 感 じ る	魅 あ ま り を 感 じ な い	魅 ま た た く を 感 じ な い	魅 力 度 (※)	無 回 答
上段: % 下段: 件数 (企業・団体)							
特色(1)	16	62.5 10	37.5 6	0.0 0	0.0 0	100.0 16	0.0 0
特色(2)	16	56.3 9	25.0 4	18.8 3	0.0 0	81.3 13	0.0 0

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業・団体の合計値

※魅力度は、件数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻 (修士課程)」の社会的必要性

- ・「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」について「必要だと思う」と回答した企業・団体は87.5% (14企業・団体)であり、多くの企業・団体がこれからの社会にとって必要な研究科・専攻と捉えていることがうかがえる。

学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻 (修士課程)」修了生の採用意向/毎年の採用想定人数

- ・「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」修了生を「採用したいと思う」と回答した企業・団体は81.3% (13企業・団体)であり、予定している入学定員6名を上回る採用意向がみられた。
- ・「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」修了生を「採用したいと思う」と回答した企業・団体へ、「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」修了生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**29名**で、予定している入学定員数を4倍以上上回っている。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学
専攻(修士課程)」の社会的必要性/採用意向/採用想定人数

■ 学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、学習院大学大学院「国際社会科学研究所 国際社会科学専攻(修士課程)」(仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思いますか。あてはまるものを1つ選択してください。

上段: % 下段: 件数 (企業・団体)	標本数	必要だと思 う	必要だと思 わない	無回答
全体	16	87.5 14	12.5 2	0.0 0

■ 学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」
修了生に対する採用意向

Q10.貴社・貴団体(ご回答者)では、学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」(仮称、設置構想中)を修了した学生について、採用したいと思われますか。あてはまるものをつつ選択してください。

上段: % 下段: 件数 (企業・団体)	標本数	採用したいと 思う	採用したいと 思わない	無回答
全体	16	81.3 13	18.8 3	0.0 0



「採用したいと思う」と答えた13企業・団体のみ抽出

■学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」
修了生に対する毎年採用想定人数

採用を考えた場合、学習院大学大学院「国際社会科学部研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」(仮称、設置構想中)を修了した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。あてはまるものを1つ選択してください。

		標 本 数	単 位	1 名 程 度	2 名 程 度	3 名 程 度	4 名 程 度	5 名 ～ 9 名 程 度	1 0 名 以 上	⇒ 毎 年 の 採 用 想 定 人 数 を 示 し た 企 業 ・ 団 体 数 ・ 計 お よ び 採 用 想 定 人 数 ・ 計 (※)
全 体	13	%	38.5%	30.8%	15.4%	0.0%	15.4%	0.0%		
		企業・団体数	5	4	2	0	2	0	13	
		名	5	8	6	0	10	0	29	

※%の母数は、「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻(修士課程)」修了生を「採用したいと思う」と回答した企業・団体(13企業・団体)

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名程度」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

巻末資料 調査票

主催：学習院大学

学習院大学大学院「国際社会科学研究所 国際社会科学専攻（修士課程）」（仮称、設置構想中）に関するアンケート

下記アンケートにご協力をお願いいたします。

学習院大学大学院では2026年（令和8年）4月に、「国際社会科学研究所 国際社会科学専攻（修士課程）」（仮称、設置構想中）の設置を構想しています。
このアンケートは採用ご担当者からご意見をお伺いし、より充実した研究科にするための参考資料とさせていただきます。アンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、企業や個人を特定することは一切ございません。ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※このアンケートや研究科概要資料に記載されている内容は予定であり、変更になる可能性があります。

C1

100%

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

.....  ここで改ページ

Q1

アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。
あてはまるものを1つ選択してください。

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
- ② 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
- ③ 採用時には直接かわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

.....  ここで改ページ

Q2

貴社・貴団体の本社（本部）所在地について、都道府県名をお教えてください。

① 単一回答

★ 必須回答

以下を選択



.....  ここで改ページ

Q3

貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。
あてはまるものを1つ選択してください。
※複数あてはまる場合は、メインの業種をお答えください。

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 農・林・漁・鉱業
- ② 建設業
- ③ 製造業
- ④ 電気・ガス・熱供給・水道業
- ⑤ 情報通信業
- ⑥ 運輸業
- ⑦ 卸売・小売業
- ⑧ 金融・保険業
- ⑨ 不動産業
- ⑩ 飲食店・宿泊業
- ⑪ 医療・福祉
- ⑫ 複合サービス事業
- ⑬ サービス業
- ⑭ 公務
- ⑮ その他 〔必須入力〕



ここで改ページ

Q4

貴社・貴団体の従業員数（正規社員）について、ご回答ください。
あてはまるものを1つ選択してください。

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 50名未満
- ② 50名～100名未満
- ③ 100名～500名未満
- ④ 500名～1,000名未満
- ⑤ 1,000名～5,000名未満
- ⑥ 5,000名以上



ここで改ページ

Q5

貴社・貴団体の過去3か年において、1年間の平均的な正規社員の新卒採用数について、お教えください。
あてはまるものを1つ選択してください。

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 0名
- ② 1名～5名未満
- ③ 5名～10名未満
- ④ 10名～20名未満
- ⑤ 20名～30名未満
- ⑥ 30名～50名未満
- ⑦ 50名～100名未満
- ⑧ 100名以上



ここで改ページ

Q6

貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。
あてはまるものを1つ選択してください。

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 増やす
- ② 昨年度並み
- ③ 減らす
- ④ 未定



ここで改ページ

Q7

貴社・貴団体では、今後、大学院でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。

あてはまるものをすべて選択してください。（複数選択可）

▼ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

☐ 1 商学・経済学（国際経済学、イノベーション・マネジメント、マーケティングなど）

☐ 2 社会学

☐ 3 法学・政治学

☐ 4 文学

☐ 5 史学

☐ 6 哲学

☐ 7 理学（数学、物理学など）

☐ 8 工学（機械工学、電気通信工学など）

☐ 9 農学（林学、水産学など）

☐ 10 保健（医学、薬学など）

☐ 11 教育学

☐ 12 その他

☐ 13 わからない

.....  ここで改ページ

C2

学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻（修士課程）」（仮称・設置構想中）の設置構想内容をご覧ください。

※このアンケートに記載されている学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻（修士課程）」（仮称・設置構想中）に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

▼ ボタンをクリックして、表示される画像をご覧ください。 ▼

※クリック必須

[【研究科概要資料】](#)

.....  ここで改ページ

Q8

学習院大学大学院「国際社会科学研究所 国際社会科学専攻（修士課程）」（仮称、設置構想中）には、以下のような特色があります。
貴社・貴団体（ご回答者）にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。
それぞれ、あてはまるものを1つ選択してください。

▼ 概要資料を再度ご覧頂く場合は、下記ボタンをクリックしてください。 ▼

【研究科概要資料】

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

0/2

- 1 国際社会における課題の解決に必要な専門知識とデータ分析能力、英語コミュニケーション能力を習得するために、経済学、経営学、社会学、地域研究、法学を実践的に学びます。 ▼
- 2 身に付けた専門知識とデータ分析能力を用いて研究を行い、英語論文作成や国際学会での報告、学術誌への投稿能力を養う科目群を通して、課題解決への総合的な実践力を習得します。 ▲

- ① とても魅力を感じる
- ② ある程度魅力を感じる
- ③ あまり魅力を感じない
- ④ まったく魅力を感じない

..... ✂ ここでご変更

Q9

貴社・貴団体（ご回答者）は、学習院大学大学院「国際社会科学研究所 国際社会科学専攻（修士課程）」（仮称、設置構想中）は、これからの社会にとって必要だと思いますか。
あてはまるものを1つ選択してください。

▼ 概要資料を再度ご覧頂く場合は、下記ボタンをクリックしてください。 ▼

【研究科概要資料】

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 必要だと思う
- ② 必要だと思わない

..... ✂ ここでご変更

Q10

貴社・貴団体（ご回答者）では、学習院大学大学院「国際社会科学研究所 国際社会科学専攻（修士課程）」（仮称、設置構想中）を修了した学生について、採用したいと思われますか。
あてはまるものを1つ選択してください。

▼ 概要資料を再度ご覧頂く場合は、下記ボタンをクリックしてください。 ▼

【研究科概要資料】

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 採用したいと思う
- ② 採用したいと思わない

..... ✂ ここでご変更

Q11

Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

採用を考える場合、学習院大学大学院「国際社会科学研究科 国際社会科学専攻（修士課程）」（仮称、設置構想中）を修了した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

▼ 概要資料を再度ご覧頂く場合は、下記ボタンをクリックしてください。 ▼

【研究科概要資料】

④ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

① 1名程度

② 2名程度

③ 3名程度

④ 4名程度

⑤ 5名～9名程度

⑥ 10名以上



ここで改ページ

C3

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
送信ボタンを押してください。



ここで改ページ

送 信

内容に関するお問い合わせ：学習院大学 国際社会科学部事務室 小山・川又 (03-5992-9253)

令和8年4月

国際社会科学専攻※（修士課程）を 開設いたします。

※名称は仮称です。

養成する人材像

国際社会科学専攻では、現代の国際社会において必要とされる以下の能力を備えた人材を育成することをめざします。

専門知識

経済学、経営学、社会学、地域研究、法学に関する専門知識。

データ分析能力

エビデンスに基づいて公共政策やビジネスプランを策定する上で不可欠な、膨大なデータを理論的な枠組みで分析する力。

課題設定と解決力

課題を見つけ出し、解決に導く力。

論理的思考力

論理的に物事を考え、判断する力。

創造力

新しいアイデアを生み出し、実行に移す力。

国際的視野

地球規模で考え、社会の変化に柔軟に対応する力。

研究科の特色

国際社会科学専攻では、以下の科目群を用意しています。これらを通じ、国際社会における課題に対して現実的な解決策を提示するための総合力を養います。

グローバル市民社会科目群

経済学、経営学、社会学、地域研究、法学に関する専門知識を習得します。

データ分析科目群

データ分析の汎用的なスキルを身に付けるとともに、社会科学の各分野における応用的なスキルを実践的に学びます。例として、経済学分野のミクロ実証分析や経営学分野のアンケート調査法などがあります。

アカデミック・スキルズ科目群

研究成果を英語で論文にまとめ、国際学会で報告し、国際的な学術誌に投稿する力を養います。

研究指導科目群

習得した専門知識とデータ分析能力を用いて、研究テーマの分析を行います。

アドミッション・ポリシー

国際社会科学専攻（修士課程）では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

知識・技能

- 1.社会科学に関する十分な基礎学力を有している。
- 2.社会科学に関する基本的な研究手法を理解している。
- 3.社会科学に関する外国語文献を読むための基礎的な語学力を備えている。

思考・判断・表現

- 4.与えられた情報から課題を理解して解答することができる。
- 5.研究課題の重要性とその研究計画について明確に説明することができる。

関心・意欲・態度

- 6.グローバル社会が直面している課題について深い関心を持っている。
- 7.課題を理解・解決するために必要な能力の修得に強い意欲を持っている。



学習院大学
GAKUSHUIN UNIVERSITY

設置の理念

国際社会においては、SDGsに代表されるような地球規模の課題を解決できる人材が求められています。一方で、将来が予測困難でVUCA(Volatility:変動性 Uncertainty:不確実性 Complexity:複雑性 Ambiguity:曖昧性)と呼ばれる現代においては、そのような課題に一つのアプローチから解決策を見出すことは困難です。そこで、国際社会科学部の学問領域(経済学・経営学・社会学・地域研究・法学)をより深く学び、高度な英語運用能力に基づく国際的な発信力を身に付ける場を提供することが社会的使命であると考え、国際社会科学部研究科の設置構想に至りました。



開設予定科目

▼研究指導科目群

研究指導

▼グローバル市民社会科目群

Special Studies in International Economic Policy

Special Studies in International Economics

Special Studies in Economic Development

Special Studies in International Marketing

国際マクロ経済学特殊研究

Special Studies in International Accounting and Taxation

Special Studies in Asian Economics

国際イノベーションマネジメント特殊研究

Special Studies in Health Economics

Special Studies in Agricultural and Rural Development

Special Studies in International Human Resource Management

人口学特殊研究

比較会社法特殊研究

▼データ分析科目群

国際経済政策論実証分析演習

International Trade Empirical Study Seminar

Economic Development Empirical Study Seminar

International Marketing Empirical Study Seminar

国際マクロ経済学実証分析演習

Accounting Information Systems Seminar

Asian Economics Empirical Study Seminar

国際イノベーションマネジメント実証分析演習

Health Economics Empirical Study Seminar

Agricultural and Rural Development Empirical Study Seminar

International Human Resource Management Empirical Study Seminar

人口学実証分析演習

比較会社法実証分析演習

上級統計学

上級質的データ分析法

上級計量経済学

上級計量社会学

▼アカデミック・スキルズ科目群

Academic Reading for Graduate Students

Academic Presentation for Graduate Students

Data Visualisation and Analysis

Academic Writing for Graduate Students

学生納付金

入 学 金	150,000 円
授 業 料	508,000 円
施 設 設 備 費	198,000 円
輔 仁 会 費	1,200 円
合 計	857,200 円



競合する大学院 / 研究科等の名称

◆青山学院大学大学院

国際政治経済学研究科国際経済学専攻

◆東洋大学大学院

国際学研究科(グローバル・イノベーション学専攻/国際地域学専攻)

◆明治学院大学大学院

国際学研究科国際学専攻

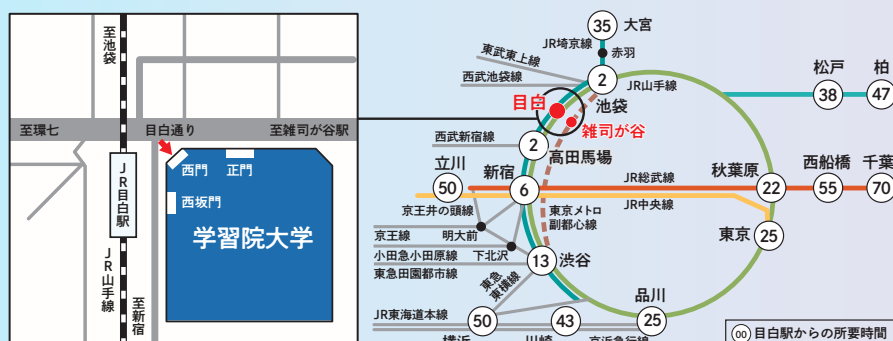
めざせる進路

- ◆国際機関や日本政府・地方自治体の国際関係部署
- ◆コンサルティング会社 ◆商社 ◆銀行 ◆メーカー など

設置概要

- ◆名称 国際社会科学部研究科国際社会科学専攻(修士課程)
- ◆修業年限 2年 ◆入学定員 6名 ◆収容定員 12名
- ◆学位の名称 修士(社会科学)
- ◆設置場所 東京都豊島区目白1-5-1
- ◆開設時期 令和8(2026)年4月

アクセスマップ



目白キャンパス

〒171-8588 東京都豊島区目白1丁目5-1
JR山手線「目白」駅下車 徒歩30秒
東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅 下車徒歩7分
都電荒川線「学習院下」、「鬼子母神前」駅も利用可
TEL.03-5992-9253(国際社会科学部事務室)
URL.<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/>

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙 1

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1			#DIV/0!
2			#DIV/0!
3			#DIV/0!
4			#DIV/0!
5			#DIV/0!
	全 体		#DIV/0!

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合や収容定員の増加に係る学則変更認可申請の場合に作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 （都道府県）	充足率		
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1	東京都	103. 70%	103. 57%	102. 88%
2				

2024（令和 6）・2023（令和 5）年度「私立大学・短期大学等 入学志願動向」から「3. 地域別の動向（大学・学部別）」を参照

※ 2 校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1	社会科学	68. 40%	70. 72%	75. 48%
2				

2024（令和 6）・2023（令和 5）年度「私立大学・短期大学等 入学志願動向」から「1. 研究科系統別の動向（大学院）」を参照

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

別紙２

大学学部学科等名：

学習院大学国際社会科学部国際社会科学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員	20人	20人	20人	20人	20人	20人
	延 べ 人 数	160人	151人	105人	112人	109人	127人
		160人	151人	105人	112人	109人	127人
		36人	33人	44人	27人	40人	36人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		10人	19人	16人	10人	17人	14人
	実 人 数	160人	151人	105人	112人	109人	127人
		160人	151人	105人	112人	109人	127人
		36人	33人	44人	27人	40人	36人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		10人	19人	16人	10人	17人	14人
	入学者数	26人	14人	28人	17人	23人	22人
学校推薦型選抜	募集人員	-	-	-	-	-	-
	延 べ 人 数	123人	88人	98人	84人	91人	97人
		123人	88人	98人	84人	91人	97人
		111人	80人	97人	71人	87人	89人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実 人 数	123人	88人	98人	84人	91人	97人
		123人	88人	98人	84人	91人	97人
		111人	80人	97人	71人	87人	89人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	111人	80人	97人	71人	87人	89人
一般選抜	募集人員	100人	95人	95人	95人	95人	96人
	延 べ 人 数	1741人	1219人	1860人	1753人	1649人	1644人
		1596人	1165人	1771人	1677人	1557人	1553人
		292人	382人	528人	487人	372人	412人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		222人	273人	404人	376人	297人	314人
	実 人 数	1741人	1219人	1860人	1753人	1649人	1644人
		1596人	1165人	1771人	1677人	1557人	1553人
		292人	382人	528人	487人	372人	412人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		222人	273人	404人	376人	297人	314人
	入学者数	70人	109人	124人	111人	75人	98人
共通テスト利用入試	募集人員	0人	5人	5人	5人	5人	4人
	延 べ 人 数	0人	196人	227人	340人	190人	191人
		0人	155人	172人	272人	127人	145人
		0人	49人	95人	86人	53人	57人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	49人	87人	84人	51人	54人
	実 人 数	0人	196人	227人	340人	190人	191人
		0人	155人	172人	272人	127人	145人
		0人	49人	95人	86人	53人	57人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	49人	87人	84人	51人	54人
	入学者数	0人	0人	8人	2人	2人	2人
その他の特別選抜	募集人員	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延 べ 人 数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実 人 数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人員	120人	120人	120人	120人	120人	120人
	延 べ 人 数	2024人	1654人	2290人	2289人	2039人	2059人
		1879人	1559人	2146人	2145人	1884人	1923人
		439人	544人	764人	671人	552人	594人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		232人	341人	507人	470人	365人	383人
	実 人 数	2024人	1654人	2290人	2289人	2039人	2059人
		1879人	1559人	2146人	2145人	1884人	1923人
		439人	544人	764人	671人	552人	594人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		232人	341人	507人	470人	365人	383人
	入学者数	207人	203人	257人	201人	187人	211人

２．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	200人	200人	200人	200人	200人	200人
入 学 定 員 充 足 率	1.04	1.02	1.29	1.01	0.94	1.06
歩 留 率	0.47	0.37	0.34	0.30	0.34	0.36

*学校推薦型選抜の募集人員について
学校推薦型選抜（公募制）では「若干名」、学校推薦型選抜（指定校）及び学校推薦型選抜（内部進学）では定めていないため、“-”としている。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙 3

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：大学院案内の配布（経済学研究科）

	R5 年度入試	R6 年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	36人	48人	①取組概要 外部業者に委託の上、大学院案内の資料請求を受け付け、全国に発送している。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 左記の表からわかるとおり、大学院案内の配布のみでは十分な学生募集効果が見込めない。そこで研究科ホームページによる積極的な情報発信とともに、学部における「ゼミ文化の醸成」を通じて、一般入試からは3名程度、内部進学からも3名程度の入学者を受け入れ、入学定員6名の充足を目指す。
うち受験対象者数 (b)	3人	2人	
うち受験者数 (c)	0人	1人	
うち入学者数 (d)	0人	0人	
(受験率 c/b)	0.0%	50.0%	
(入学率 d/b)	0.0%	0.0%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5 年度入試	R6 年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数 (b)			
うち受験者数 (c)			
うち入学者数 (d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5 年度入試	R6 年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数 (b)			
うち受験者数 (c)			
うち入学者数 (d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5 年度入試	R6 年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数 (b)			
うち受験者数 (c)			
うち入学者数 (d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5 年度入試	R6 年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数 (b)			
うち受験者数 (c)			
うち入学者数 (d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	